

— 設備保全の情報共有・交流会 —

東北地域保全研鑽会 (2024年度第1回)

<https://info-jipm.jp/f/jipm-study-group/>

のごあんない

- 設備保全は、“壊れた部品を交換するだけ”ではありません！
設備をいつでもロスなく稼働させることが本来の役割。
- でも、自社だけでは行き詰ってしまうことも。。。
困りごとの解決や、他社の取組み事例を知りたい方は、
ぜひ、本研究会で一緒に解決してみませんか！！



2024年度第1回 開催概要

日時	2024年7月30日(火) 13時～ ※ 受付は、12時40分より開始します ※ 終了時間は、17時00分を予定しています
場所	トヨタ自動車東日本 株式会社 宮城大衡工場 (宮城県黒川郡大衡村中央平1番地) 宮城大和工場 (宮城県黒川郡大和町松坂5-1-1) ※ 集合場所は、参加者確定後にご案内いたします
内容	● トヨタ自動車東日本 株式会社 宮城大衡工場・宮城大和工場の工場見学 ～トヨタ自動車東日本 株式会社における“設備管理”の事例見学～ ● 見学後の質疑応答、ディスカッション ※ 見学内容は現時点での予定であり、変更の場合がございます
申込方法	メールにて、お申し込みを受付けます。(FUKYU@jipm.or.jpまで) ※ お申込み多数の場合や、同業種の方のご参加の場合はお断りすることがございます。 あらかじめご了承ください ※ メール送付の際は、下記内容をご入力ください ・ 件名 : 東北地域保全研鑽会の申込み ・ 本文 : 1. 貴社窓口ご担当者様情報 (貴社名、所属、役職、お名前、お電話番号) 2. 参加予定人数 (参加者様情報は、別途、指定様式への入力をお願いします)
年会費	● 公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会 会員価格：無料 ● 一般価格(上記以外)：¥33,000-/名

トヨタ自動車
東日本さん
全面協力！！



東北地域保全研鑽会ってなに？

「設備保全」の業務は、「設備をいつでもロスなく稼働させる」ことが本来の役割。

その実現には、故障をはじめとしたロスの原因を見つけて、未然に対策を行なうことが重要です。

しかしながら、自社で得た知見だけでは、なかなか対策が難しい場合も。。

「東北地域保全研鑽会」では、2016年より、人材育成や人材確保、設備診断技術などをテーマにして、ディスカッションや、工場の見学を実施しながら「オール東北」での交流の場となることを目指しております。

日頃の困りごとの解決や、他社の取組み事例を知りたい方は、この機会にぜひご参加いただき、参考となる情報を自社で活かしてみませんか？

(当会会員企業の方は参加無料ですので、お気軽にご参加ください)



研究会概要

主催	・ 公益社団法人日本プラントメンテナンス協会
活動内容	・ 設備管理・保全に関する情報交換ならびに相互研鑽 ・ 設備管理、保全、モノづくり全般について先進企業の取組み紹介 ・ メンバー企業の工場見学 など
参加対象	・ 設備保全、設備管理全般の管理者およびご担当の方 ・ 人材教育の企画、実施のご担当の方
開催頻度	・ 2～3回/年を予定
開催方法	・ 集合開催（ZoomによるWEB開催を併用する場合あり）
年会費	・ 公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 会員価格：無料 ・ 一般価格（上記以外）：¥33,000-/名

研究会活動レポート（2023年度）

テーマ	2023年度第1回 東北地域保全研鑽会 ～ディスクメディア製造における設備予兆保全の取組み～
開催日	2023年11月21日（火）
開催場所	ソニーストレージメディアマニュファクチャリング株式会社
プログラム	会社概況説明 → 活動紹介 → 工場見学 → ディスカッション
参加者	東北地域保全研鑽会 会員：30名（11社）
開催報告※抜粋	<ul style="list-style-type: none">● 今回の研究会では、ソニーストレージメディアマニュファクチャリングさんの会社概要・事業説明にはじまり、ディスクメディア製造における設備予兆保全の取組みについてお話しいただいた。その後、ご紹介いただいた取組みを主体に、参加者全員で現場にお伺いし、現物を目の当たりにして、より詳しくご紹介いただいた。● 自動車関連の企業が多い本研究会にとって、ソニーストレージメディアマニュファクチャリングさんの兆候管理の取組みは、様々な点で刺激になった。● 品質確保を目的とした、AIによる分析によって工数削減を取組みからは、今後のAI導入が主流になる時代に向けて、参加者それぞれが情報収集しなければという気づきを得られた。● 参加者の開催後アンケートを拝見しても、今回の研究会は開催目的であった、現場・現物・現実といった三現主義のもと、そこから得る”気づき”の大切さを再認識いただいた企画であった。次回以降の研究会でも、参加者の方々が”気づき”を多く得ていただく企画を検討していきたい。



東北地域保全研鑽会にご興味ある方は、お気軽にお問合せください

TEL：0120-451-466（または03-6865-6081） E-mail：FUKYU@jipm.or.jp